

アメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス (アフラック米国法人) の販促品 (ぬいぐるみ) 「ドクターダック」 の 自主回収に関するお詫びとお知らせ

今般、グループ会社の1つで米国の生命保険会社であるアメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス (以下、アフラック米国法人) の販促品「ドクターダック」(写真参照) の部品(白衣のボタン) に、米国において定められている基準を超える鉛が含まれているものがあることが判明いたしました。

当該「ドクターダック」は、アフラック米国法人の販促品であるため、主として米国内で配布されていますが、日本においても、主に販売代理店、提携先等のビジネスパートナーを対象に、約5,300個の配布を確認しています。通常のお取り扱いの場合には問題は生じませんが、配布先の皆様の安全を第一に考え、今般「ドクターダック」を自主回収させていただくことといたしました。

現在、配布を確認している「ドクターダック」約5,300個のうち、その多くは配布先を特定し、すでに回収に着手しているところです。

配布先が特定されていないものにつきましても、回収に全力を挙げているところですが、配布先の特定と回収に時間を要する可能性があるため、こうした形でお知らせすることといたしました。お心当たりの方は、大変お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。当社指定の宅配業者が回収にお伺いいたします。

なお、当社(アフラック生命保険株式会社)が発注製造し、日本でお客様にお渡ししている「アフラックダック」等のぬいぐるみについては、2008年5月の食品衛生法改正以降、鉛など重金属に関して社団法人日本玩具協会が定めた玩具安全基準を満たしていることを第三者機関による検査によって自主的に確認していますので、ご安心ください。

お客様、販売代理店および提携先等の皆様方には、ご心配とご迷惑をおかけいたしますことを、深くお詫び申し上げます。

1. 回収対象の販促品および個数

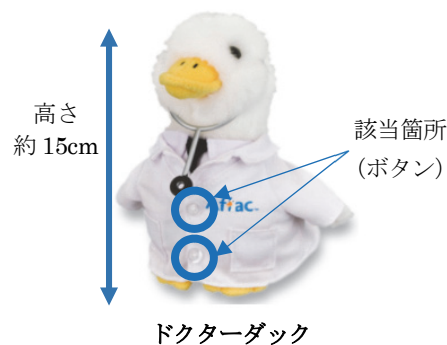
- ・ドクターダック(高さ約15cm、白衣を着用、右写真、詳細は別紙をご参照ください)
- ・配布を確認している個数: 約5,300個(その多くは配布先を特定し、すでに回収に着手しています)

2. 回収理由

「ドクターダック」の白衣のボタンに、米国において定められている基準を超える鉛が含まれているものがあり、米国において自主回収しているため、日本においても自主回収するものです。

3. お心当たりの方へのお願い

大変お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡ください。当社指定の宅配業者が回収にお伺いいたします。



ドクターダック

【お問い合わせ先: アフラック コールセンター】

0120-016-830

(携帯電話からでも通話可能です)

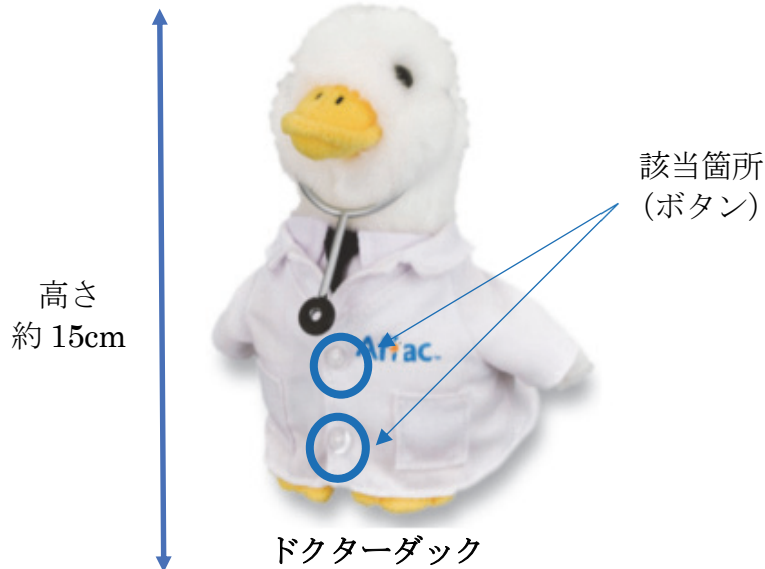
受付時間: (月~金) 9:00~18:00 (土) 9:00~17:00

(休・祝日を除く)

別紙

■今回、回収対象の「ドクターダック」

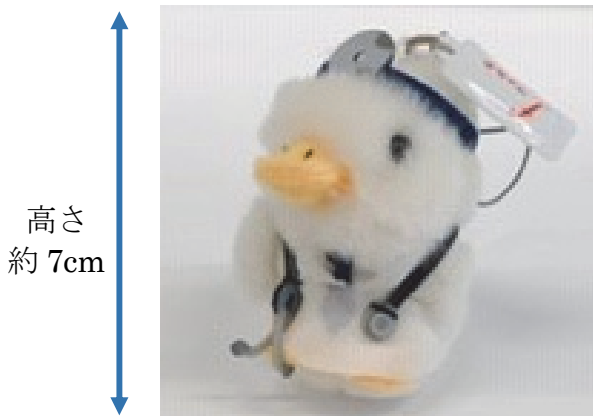
アメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス (アフラック米
国法人) が発注製造した販促品 (ぬいぐるみ) 「ドクターダック」
(白衣を着用、押すとアフラックと鳴きます)



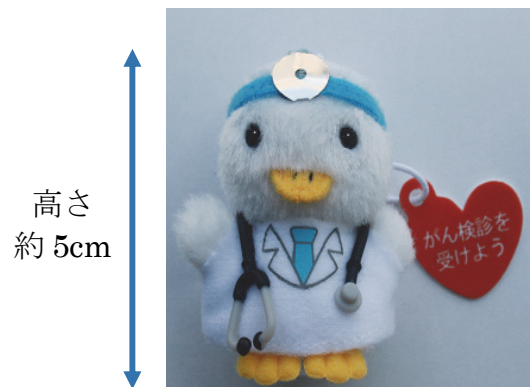
■以下の類似品はご心配ありません。

以下の「ドクターダック」類似のアフラックダック (白衣を着用) は、当社 (アフラック生命保
険株式会社) が発注製造しているものであり、鉛など重金属に関して社団法人日本玩具協会が定
めた玩具安全基準を満たしていることを第三者機関による検査によって自主的に確認していま
すので、ご安心ください。

- ① 当社の保険商品「がん保険フォルテ」(2007年
9月～2011年3月販売) の販促品です。包装
の裏面に「Dr. ダック」と記載されていますが、
今回の回収対象のものとは異なります。
- ② がん検診の受診を呼びかける「がん検診ダ
ック」(携帯クリーナー付き) です。お尻
の部分が携帯クリーナーになっています。
今回の回収対象のものとは異なります。



「がん保険フォルテ」 Dr. ダック



検診ダック

アヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」の安全性の確認について

今般、当社はアフラック米国法人の販促品「ドクターダック」の部品（白衣のボタン）に、米国において定められている基準を超える鉛が含まれているものがあることが判明し、日本においても自主回収させていただくことを公表（※）しましたが、米国で開発されたアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」は、日本国内の基準においても玩具としての安全性を確認していますので、ご安心ください。

当社は、小児がん支援の一環として、米国で開発されたアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」を子どもたちの元へ届ける取り組みを行っており、これまでに日本国内において約300羽（2020年3月末時点）を小児がんの治療に取り組む病院等に寄贈しています。

「My Special Aflac Duck」については、社団法人日本玩具協会が定めた安全基準を満たすことを第三者機関による検査で確認のうえ、安全面について注意深く作られたおもちゃの証である玩具安全マーク（ST マーク）を取得するなど、子どもたちが安心して触れることができるよう細心の注意を払っておりますので、ご利用中の医療関係者および患児のご家族のみなさまにおかれましては、ご安心いただきますようお願い申し上げます。

（※）「ドクターダック」の自主回収に関する詳細は以下をご覧ください。

URL : <https://www.aflac.co.jp/info/doctorduck2020.pdf>

■ 「My Special Aflac Duck」について

「My Special Aflac Duck」は、治療そのものとどう向き合うかはもちろんのこと、同世代と同じような生活ができないことや、大人に囲まれた入院生活などさまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために、米国で開発されたアヒル型ロボットです。米国での開発にあたっては、1年以上をかけて100名以上の小児がんの子どもたち、医療関係者や児童心理学者などの専門家とのテストを通じて改良を重ねました。

「My Special Aflac Duck」は子どもたちが自分の感情を伝えるのが難しいときに7枚の気持ちカードを使って子どもたちに代わり感情を表現することができます。また、大人たちもその子がどんな気持ちなのかを理解して、会話のきっかけを作ることができます。

当社は、ペアレンツハウスや奨学金制度の運営のほか、小児がんに関する啓発活動など小児がんの子どもたちとご家族に対する支援に長年取り組んできました。これらの活動に加え、今後も、「My Special Aflac Duck」の提供を通じて、患児たちのさらなるQOL向上にも貢献してまいります。

